

産業廃棄物処理計画書																			
三重県知事 殿			令和6年 6 月20 日																
提出者																			
住所			愛知県刈谷市一里山町金山100番地																
氏名			トヨタ車体株式会社																
			代表取締役 松尾 勝博																
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)																			
電話番号			0566-36-8847																
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																			
事業場の名称		トヨタ車体株式会社 いなべ工場																	
事業場の所在地		三重県いなべ市員弁町市之原10番地																	
計画期間		令和6年4月1日～令和7年3月31日																	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																			
① 事業の種類		E31 製造業/ 輸送用機械器具製造業																	
② 事業の規模		全社売上高:23,440億円																	
③ 従業員数		2,869人																	
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程		<table><tr><td>主な排出工程</td><td>主な廃棄物名称</td><td>中間処理(自ら)</td><td>中間処理(委託)</td><td>リサイクル用途等</td></tr><tr><td>塗装工程</td><td>塗料カス</td><td>—</td><td>焼却</td><td>セメント材料</td></tr><tr><td>排水処理場</td><td>汚泥</td><td>乾燥</td><td>焼却</td><td>セメント材料</td></tr></table>			主な排出工程	主な廃棄物名称	中間処理(自ら)	中間処理(委託)	リサイクル用途等	塗装工程	塗料カス	—	焼却	セメント材料	排水処理場	汚泥	乾燥	焼却	セメント材料
主な排出工程	主な廃棄物名称	中間処理(自ら)	中間処理(委託)	リサイクル用途等															
塗装工程	塗料カス	—	焼却	セメント材料															
排水処理場	汚泥	乾燥	焼却	セメント材料															

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
<div>CS R 環境委員会 (委員長 〓 社長)</div>	<div>生産環境委員会 (委員長 〓 環境担当役員)</div>
<div>いなべ工場生産環境委員会</div>	<div>環境保全統括者：工場長</div>
<div>：環境保全副統括者 ：工務部部長</div>	<div>塗装部部長</div>
	<div>車体部部長</div>
	<div>組立部部長</div>
	<div>品質部部長</div>
	<div>工務部部長</div>
	<div>環境保全管理者</div>

廃棄物に係る情報の収集・管理いなか工場生産環境委員会を通じ、法の動向、処分方法の変更等についてコミュニケーションを図る。また、変更情報等を廃棄物処理運営要領書に織り込み、管理するとともに、従業員へ分別基準等の情報を周知する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類で質の良い梱包材等ビニル、塗装工程マスキング紙、リキ紙を有価物引取りとした	
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) ・現状を継続する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・加工不良の樹脂部品等は分別を徹底し、有価物引取りとする
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチックの有償化を検討する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度実績】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組) ・排水処理場から排出される汚泥を中間処理にて脱水 (含水率を維持するための施設管理)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組) ・現状を継続する			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項


①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。	
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組)		
	・中間処理後、セメント材料、路盤材など再生利用が可能な業者に委託している		

②計画	【 目標 】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)		
	・現状を継続する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

記入願います
 記入不要です

項目 \ 廃棄物の種類 現状/計画			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	令和3年 月 日	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量 (t)
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量①	前年度実績		9932.291	20.12			1194.65		16.34	9.084					16.3								11,189
		今年度目標		11223.5	22.7			1350.0		18.5	10.3					18.4								12,643
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量②+⑧	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量⑤	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量⑦	前年度実績		9507.781																				9,508
		今年度目標		10743.8																				10,744
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に に関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量③+⑨	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量⑩	前年度実績		424.51	20.1			1194.65		16.34	9.084					16.3								1,681
		今年度目標		479.7	22.7			1350.0		18.5	10.3					18.4								1,900
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量⑪	前年度実績		53.08	20.1			1187.4		15.54	8.67					16.3								1,301
		今年度目標		60.0	22.7			1341.8		17.6	9.8					18.4								1,470
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量⑫	前年度実績		424.51	20.1			1194.65		16.34	9.084					16.3								1,681
		今年度目標		479.7	22.7			1350.0		18.5	10.3					18.4								1,900
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量⑬	前年度実績		0.0				864.5			0													865
		今年度目標		0.0				976.9			0.0													977
	⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量⑭	前年度実績																						0
		今年度目標																						0

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第2号の9 別紙2の項目番号です。